令和８年　南砺市議会定例会

令和８年１０月会議における
市 長 提 案 理 由 の 説 明 要 旨

令和８年１０月１６日

提案理由の説明

（令和８年１０月会議）

はじめに

令和８年１０月会議にあたり、提案理由の説明に入ります前に、最近の情勢や市政に対する所信の一端を申し述べ、議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、最近の諸情勢等について申し上げます。

１０月５日に招集された第２２２回臨時国会の所信表明演説において、高市総理大臣は、持続的な「成長の好循環」を実現するため、「責任ある積極財政」による国内投資の引き込み、経済成長による賃上げや税収増を目指すことを表明されました。

これは、「財政の持続可能性」を前提としつつ、「日本成長戦略」及び「地域未来戦略」を両輪として、大規模な財政支出を行い、国内投資を力強く引き出そうというものであります。

また同時に、「日本の大きな伸び代は、地方にある」と述べ、地方への大規模投資と産業クラスターの形成を軸に「強い地域経済」の構築を図ることとしています。

このことに関連して、去る９月１１日には、富山県及び南砺市が申請していた経済産業省のＧＸ戦略地域（データセンター集積型）の計画が認定されたところです。市としても、このような国からの後押しは大変心強いものであり、今後これらの支援を活用しながら、地域経済を活性化し、民間事業者の投資を呼び込む施策を推進してまいります。

さて、１０月に入り、市におきましても令和９年度当初予算編成が始まっております。人口減少が進む厳しい現実に正面から向き合い、前例踏襲に陥ることなく、本市が「選ばれるまち」へと成長を遂げるため、強い決意をもって予算編成を進めてまいります。

ふるさと納税の推進や市有財産の収益化など、市として「稼ぐ仕組み」への転換を進め、自主財源の確保と財政基盤の強化を図るほか、「スマートシュリンク（賢い縮小・資源最適化）」の考え方を念頭に、公共施設再編計画の着実な実行、事業のスクラップ・アンド・ビルド、さらにはＡＩ・ＤＸの活用による業務効率化と行政サービスの質的向上を並行して追求してまいります。

また、引き続き５億円規模の「人口対策特別枠」を設け、若者の定住・子育て支援や交通体系の整備などに重点的に取り組むとともに、ＰＬＡＹ　ＥＡＲＴＨ　ＰＡＲＫやａｒｅｍｏａとの連携、さらにはＧＸ戦略地域の認定を生かし、次世代に向けた投資の呼び込みを通じて、「稼ぐまちづくり」を強力に推進すべく、全庁一丸となって持続可能で希望あふれるまちづくりに果敢に挑戦してまいります。

それでは、提出いたしました議案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

令和８年度補正予算

議案第６９号は、令和８年度南砺市一般会計補正予算（第３号）を調製し、議会の議決を求めるものです。

今回は事業の中間調整に係るものとして、桜ヶ池公園湖岸遊歩道デッ

キ改修工事において、詳細な調査の結果、追加で部材の取替等が必要となったことから、公園管理費に３，６３６万６千円を増額計上しております。

この結果、令和８年度一般会計予算の累計額は、３７７億３，９３９万１千円となります。

これら補正予算の財源につきましては、市債及び繰越金を充当して対応いたします。

その他の議案

その他の議案としまして、議案第７０号の南砺市病院事業将来ビジョン議決事項の改正については、持続可能な地域医療提供体制の構築に向けた南砺市病院事業将来ビジョンの一部改正に伴い、「南砺市病院事業将来ビジョン議決事項」を改正するものです。

以上､提出いたしました議案について提案理由を説明いたしましたが、慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。